

経済倶楽部便り

◆東京◆ 5月末に恒例の春の事業所見学会を行いました。出発当初は雨模様の中も途中から晴れて爽やかな初夏の気候に。事業所見学では、これまで機械など重厚長大産業が中心でしたが、今回は食品産業で茨城県にあるキューピー五霞工場を見学。同工場はマヨネーズの主力工場ですが、圧巻は自動で卵を割る工程。1分間に600個の卵を黄身と白身と殻に分けます。黄身はマヨネーズ原料、白身はお菓子やかまぼこ原料、殻は壁材、殻膜は化粧品原料にそれぞれ有効活用されています。見学後は近郊の古河市で歴史地区を散策し夕刻東京に戻りました。新会

員をご紹介します。宮崎友幸・日本紙パルプ商
事常務執行役員、遠谷信幸・電通執行役員、宮
川尚久・古河機械金属代表取締役の3名です。

7月の講演会はビルトッテン・アシスト会長、
前田昌孝・日経ヴェリタス編集委員、野口悠紀
雄・早稲田大学ファイナンス総合研究所顧問、
野田佳彦・衆議院議員の予定です。

◆中部◆ 「産業界の夏のボーナスも自動車が
加算されると全体平均が上昇する」とある地元
大手企業の社長が笑う。自動車の街、名古屋圏
の景気は上向いています。名古屋駅周辺の大型
再開発も本格化。名古屋復活の足音が聞こえま
す。7月の講演会は永濱利廣・第一生命経済研
究所主席エコノミスト、渡部恒雄・東京財団上
席研究員を予定しています。

(日暮良一)